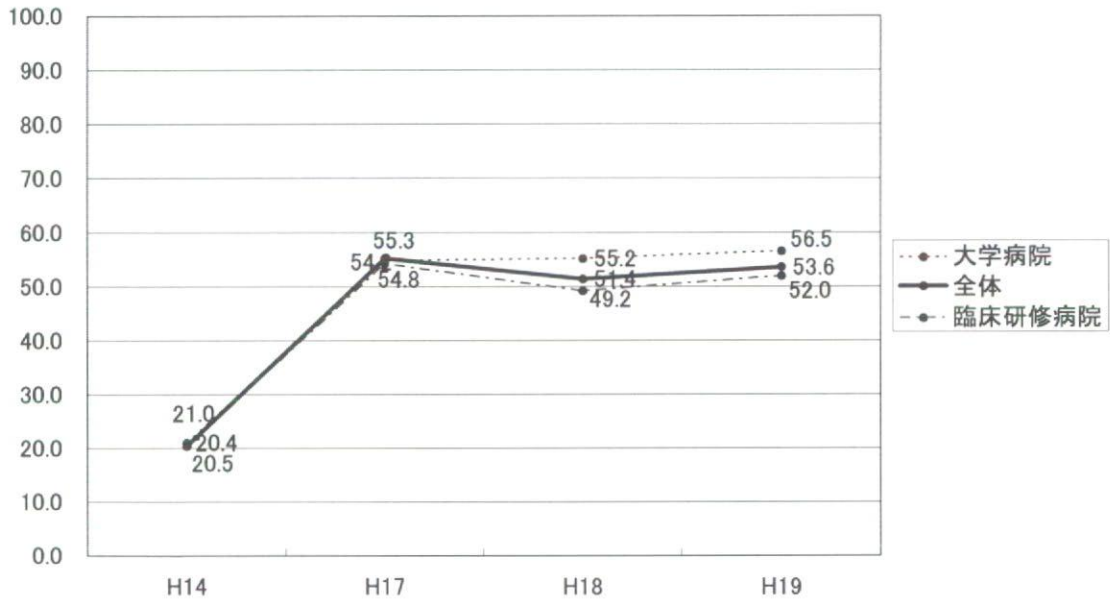
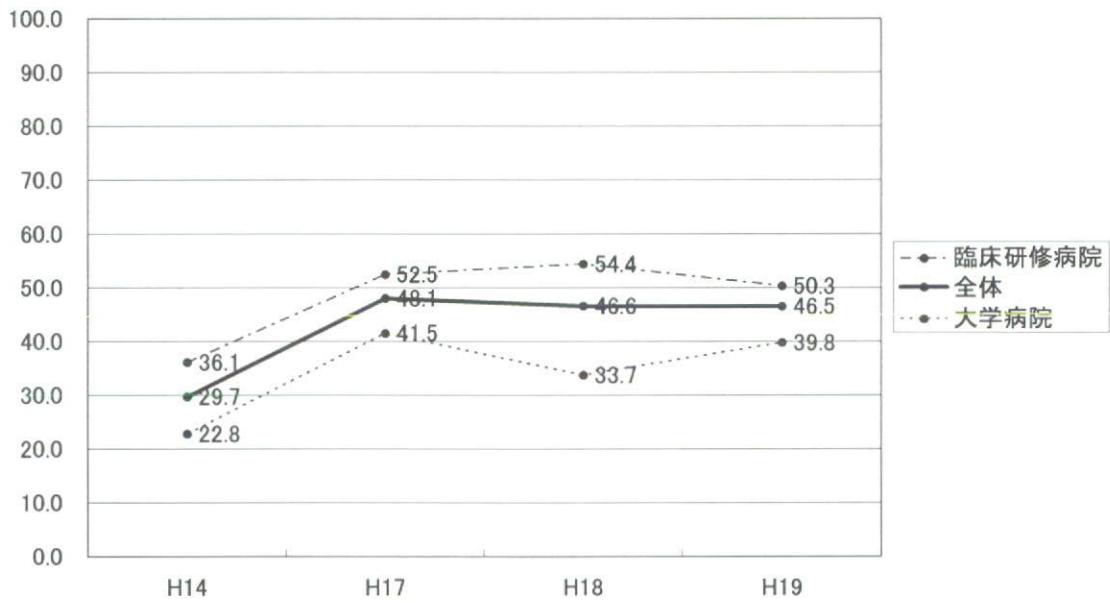


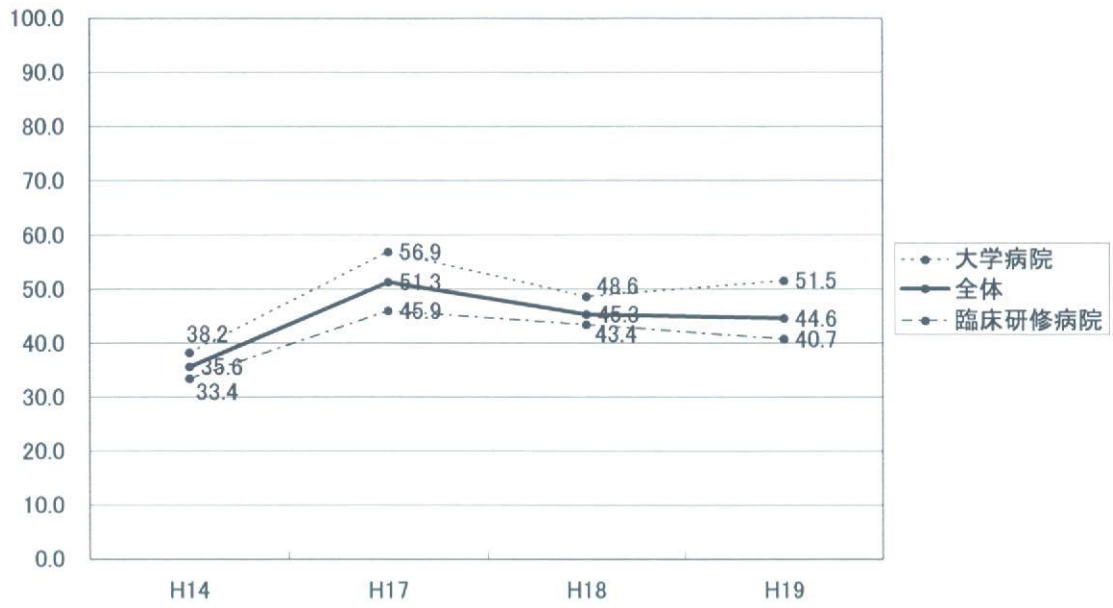
うつ病の診断基準を述べることができる



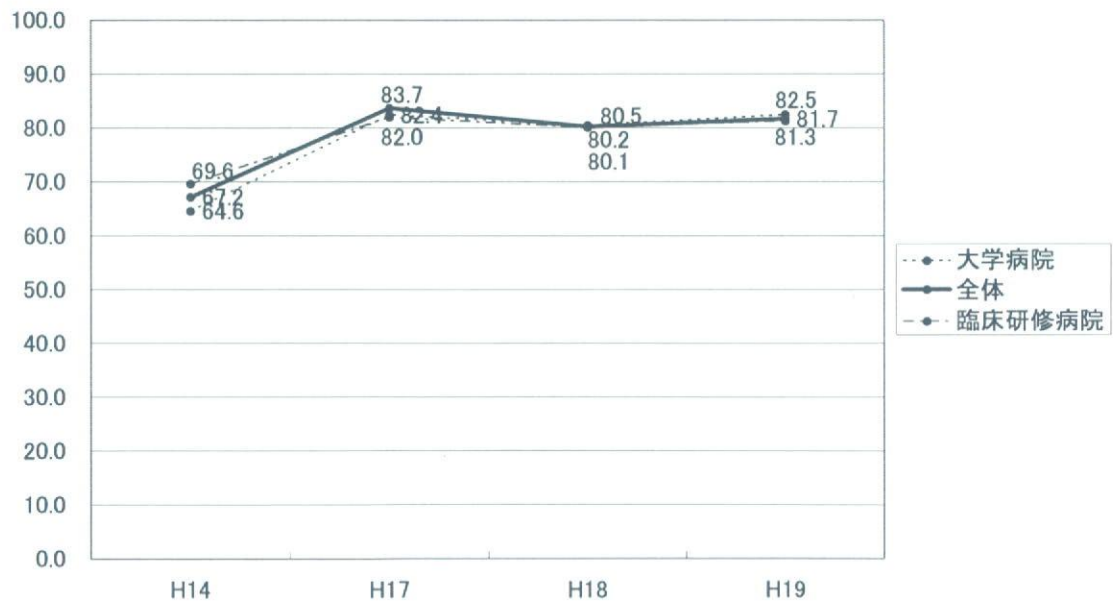
骨折、脱臼、捻挫の鑑別診断ができる



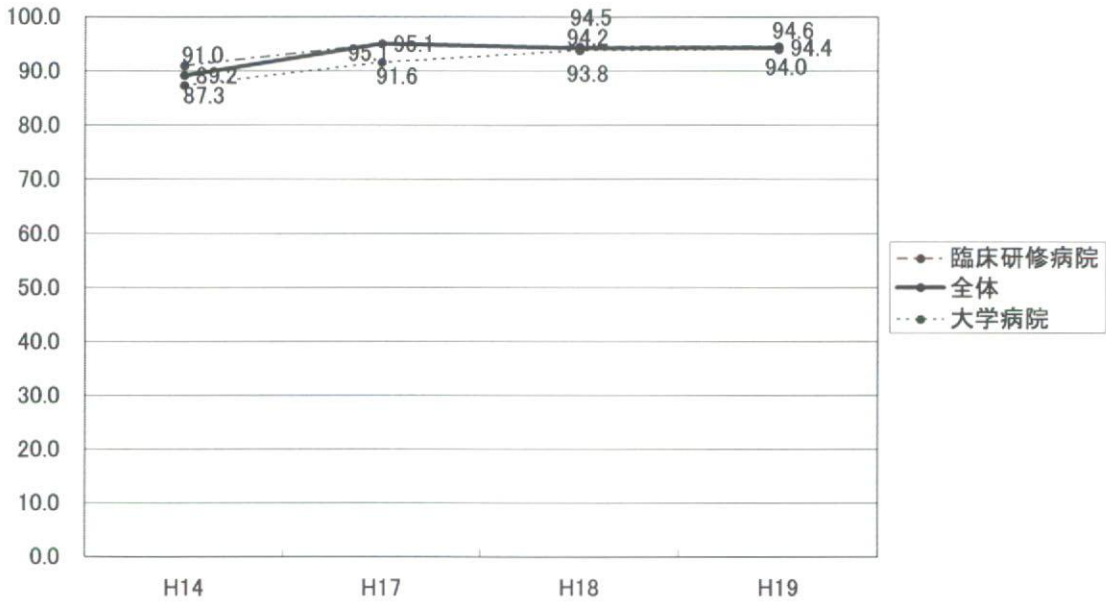
尿沈査の鏡検で、赤血球、白血球、円柱を区別できる



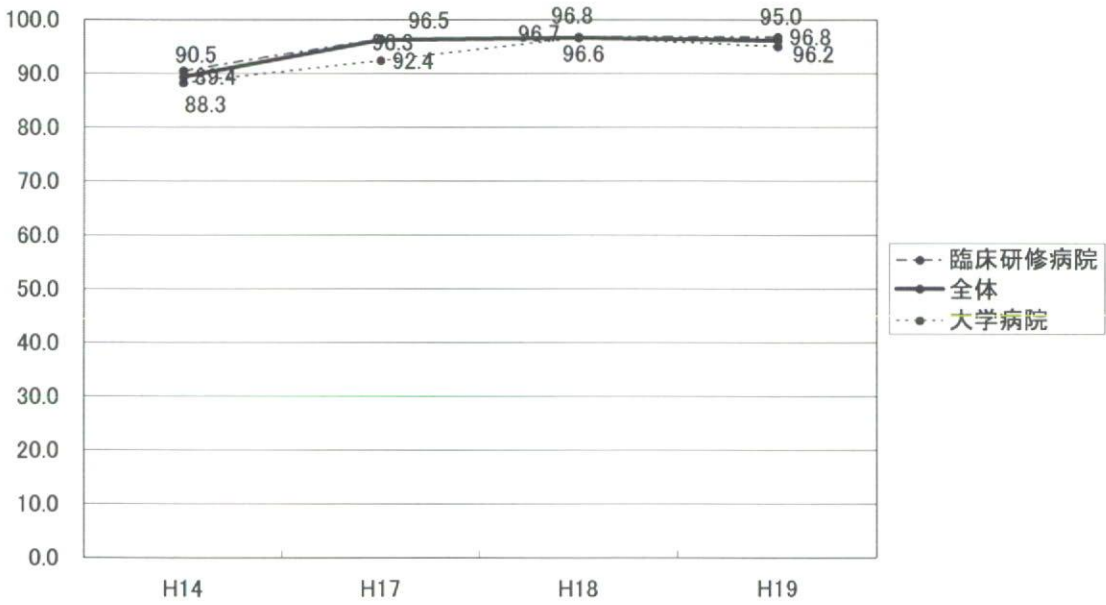
便の潜血反応を実施し、結果を解釈することができる



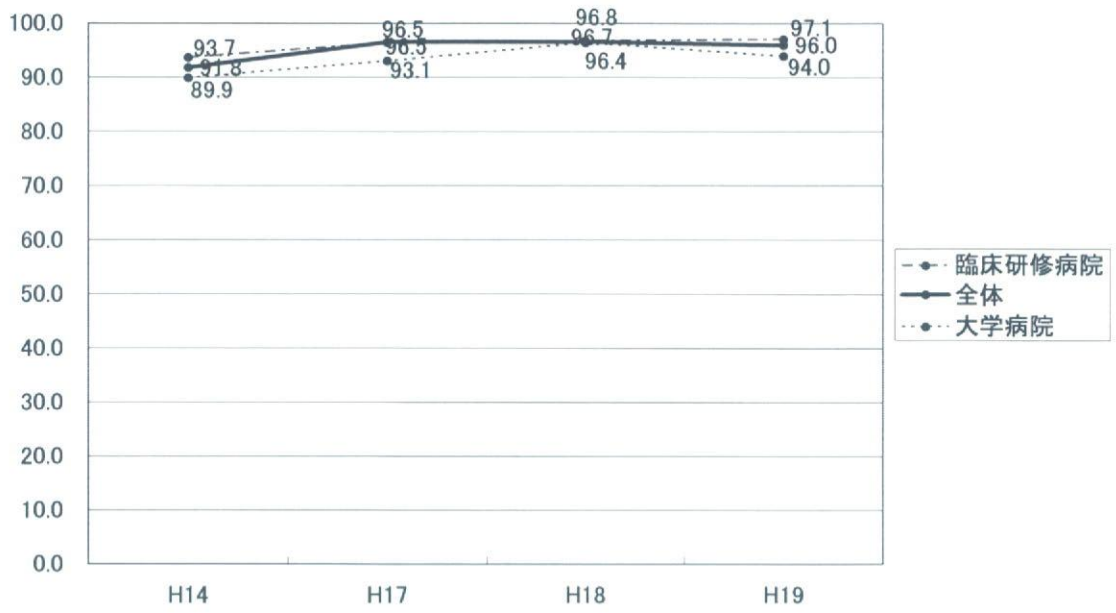
血液ガス分析の適応が判断でき、結果の解釈ができる



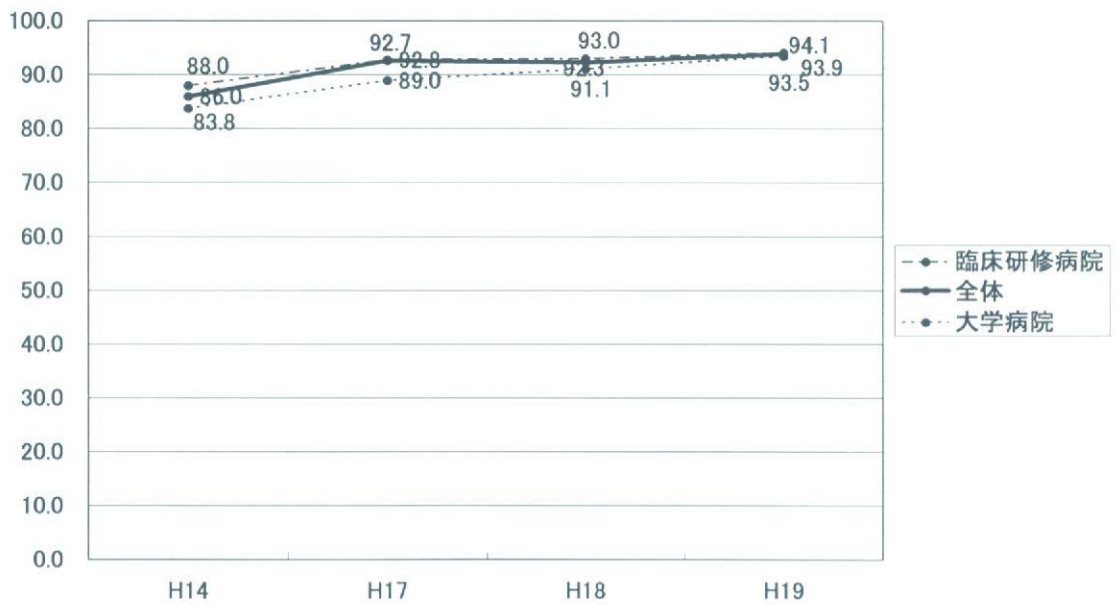
血算・白血球分画検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる



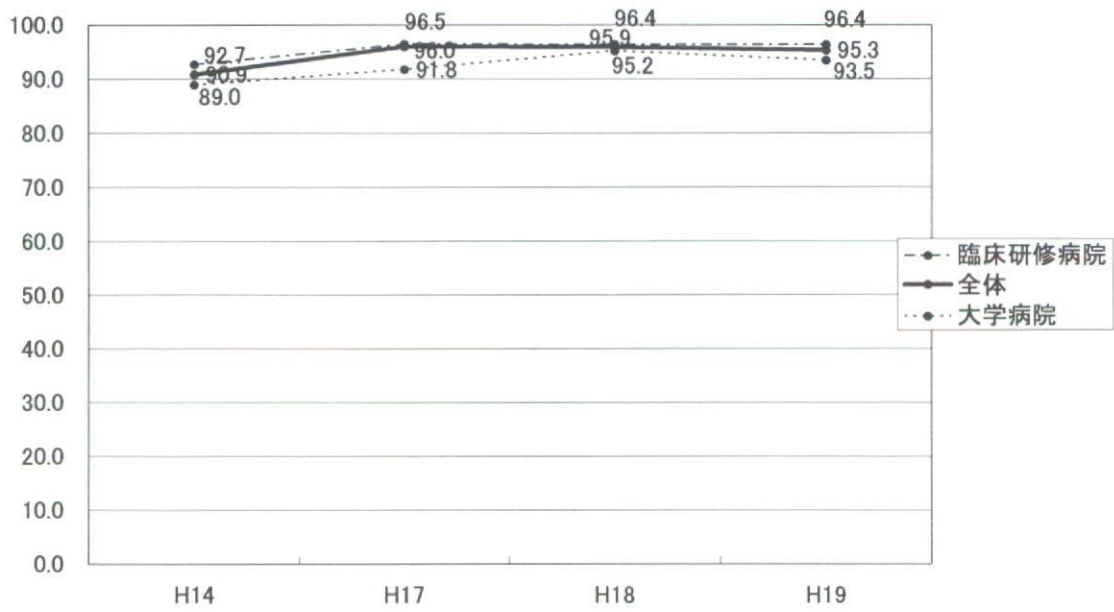
血液生化学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる



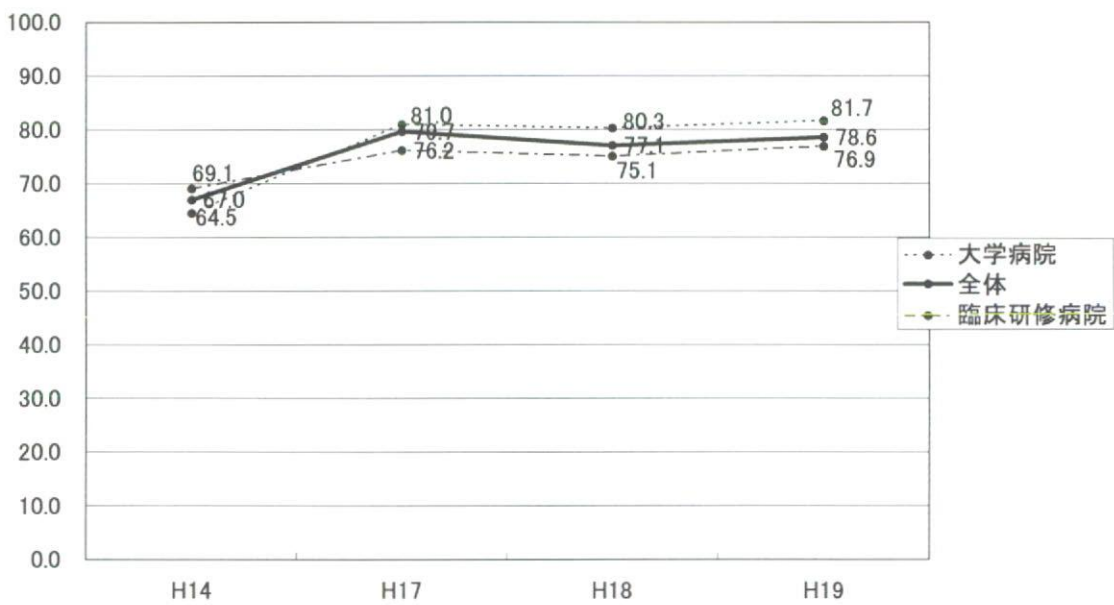
血液凝固機構に関する検査を指示し、結果を判定できる



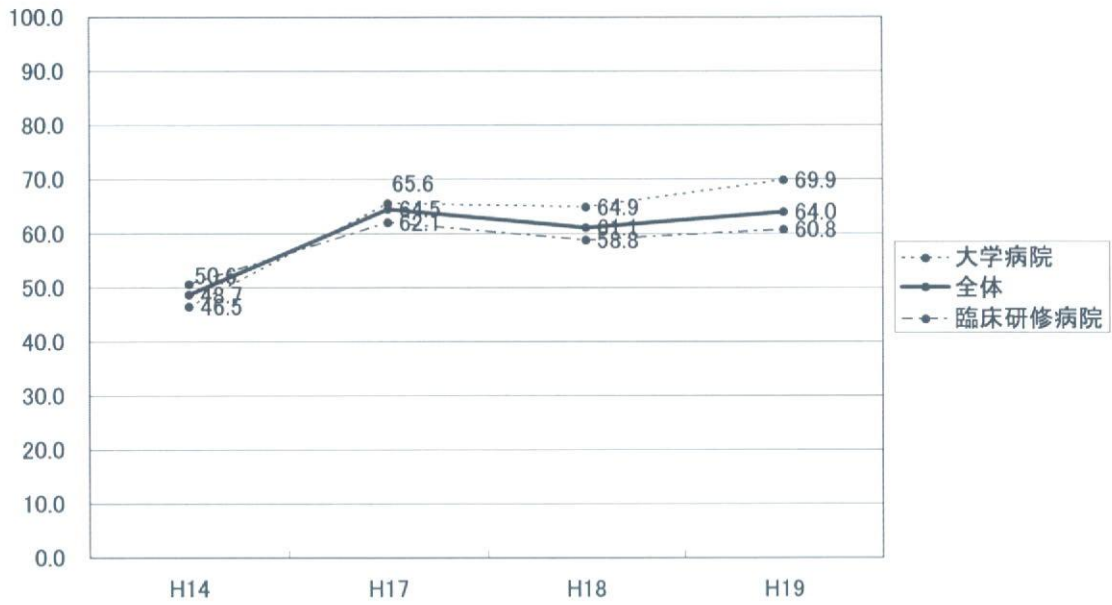
簡易検査(血糖、電解質、尿素窒素など)の適応が判断でき、結果の解釈ができる



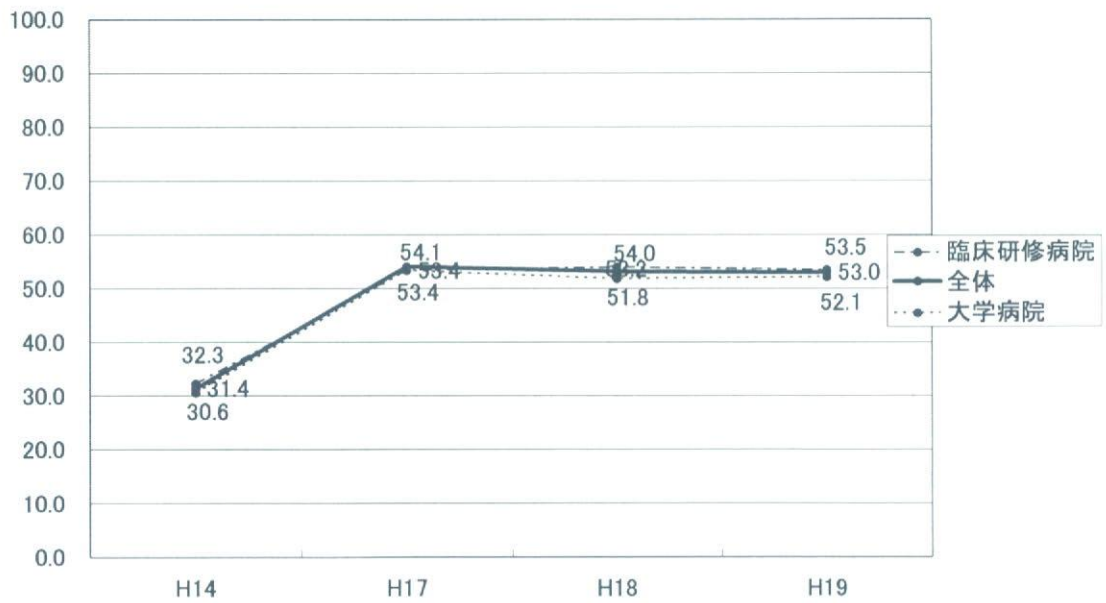
血液免疫血清学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる



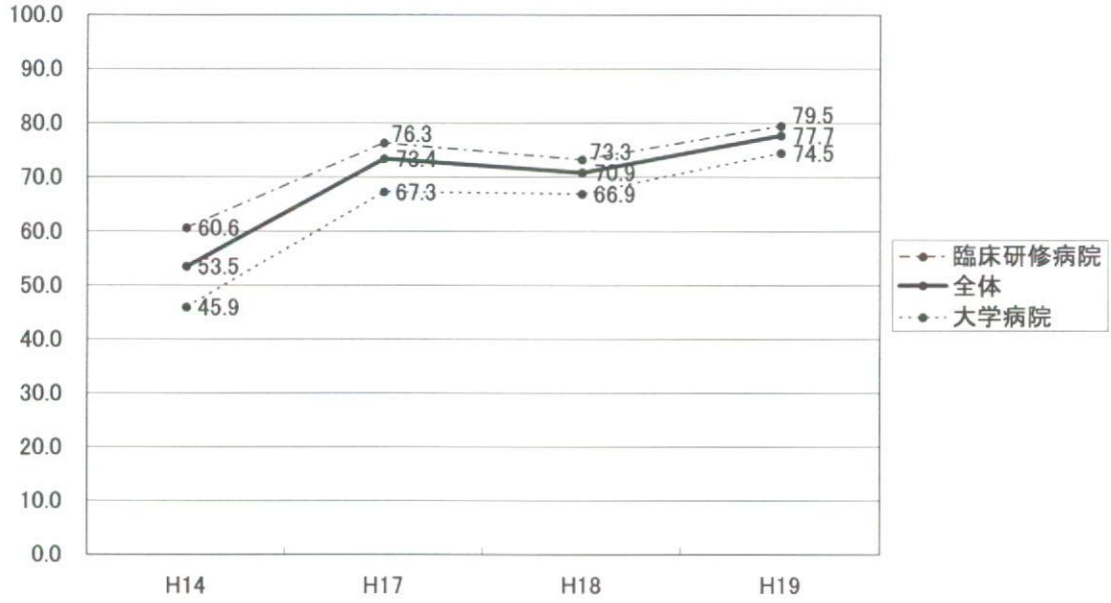
内分泌学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる



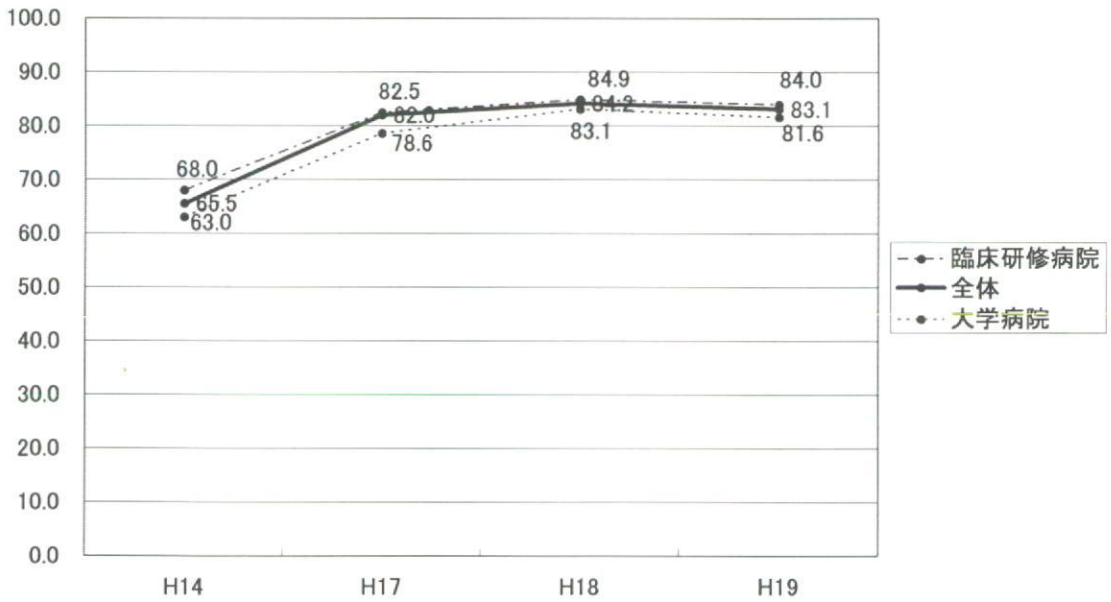
グラム染色を行い、結果の解釈ができる



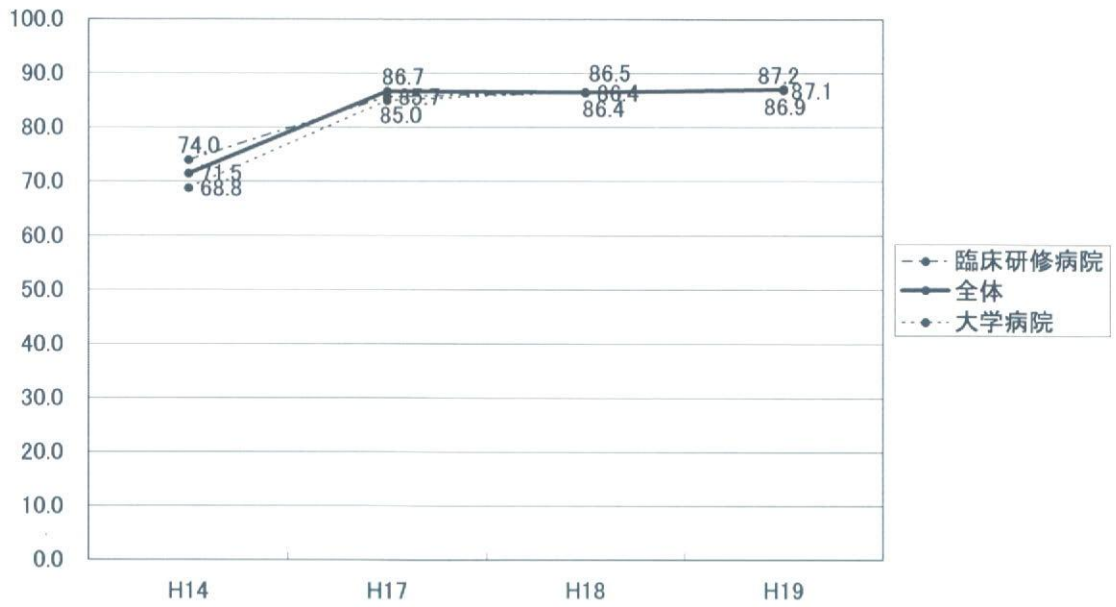
髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる



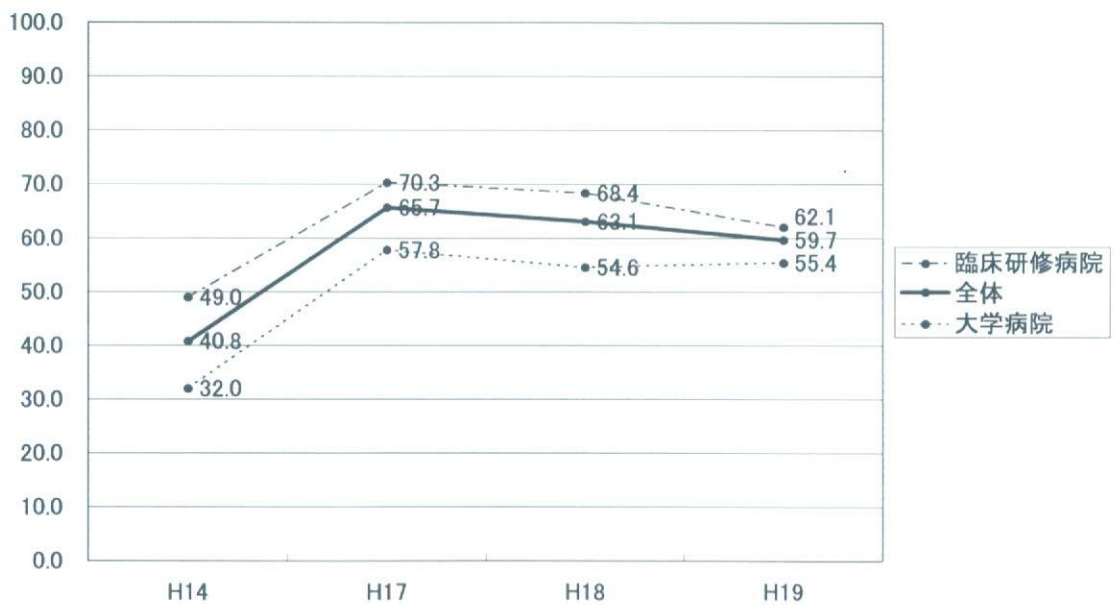
心電図検査を自ら実施し、不整脈の鑑別診断ができる



肺機能検査で閉塞性換気障害の判定ができる

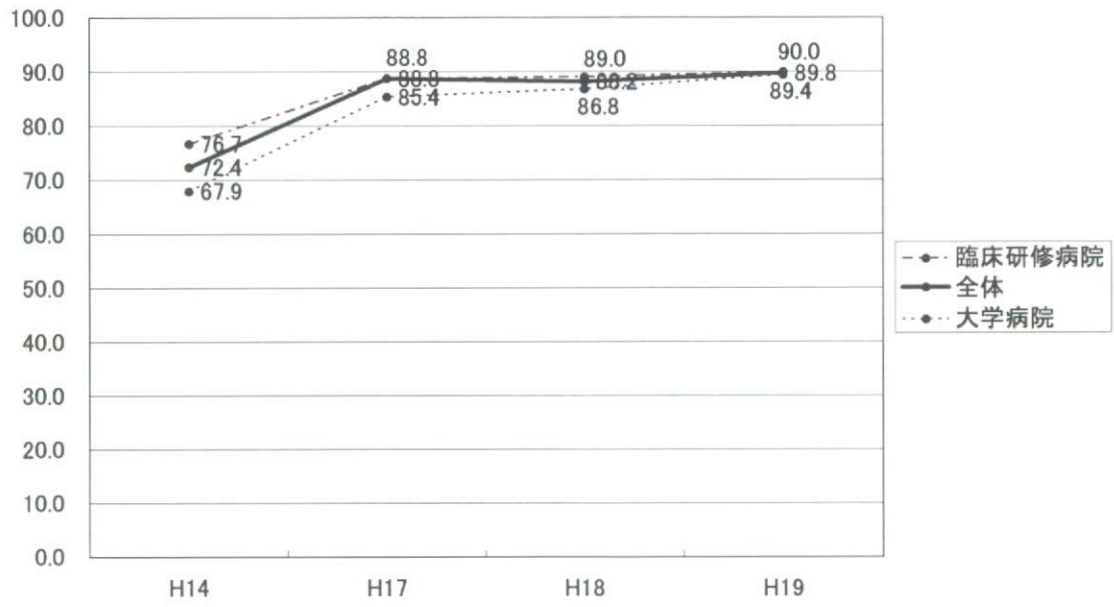


超音波検査を自ら実施し、胆管拡張の判定ができる

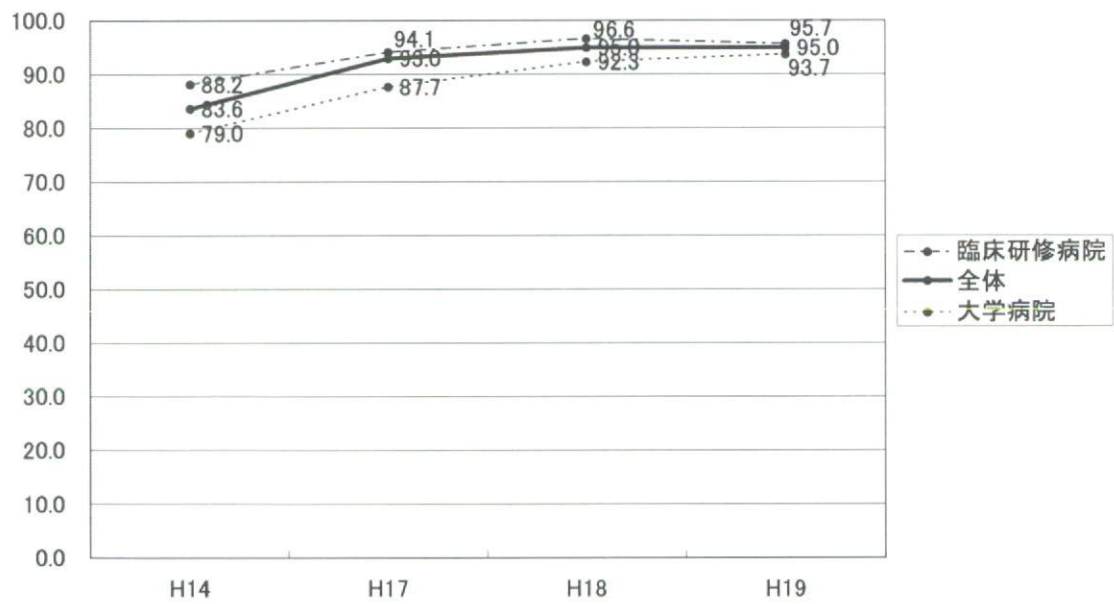




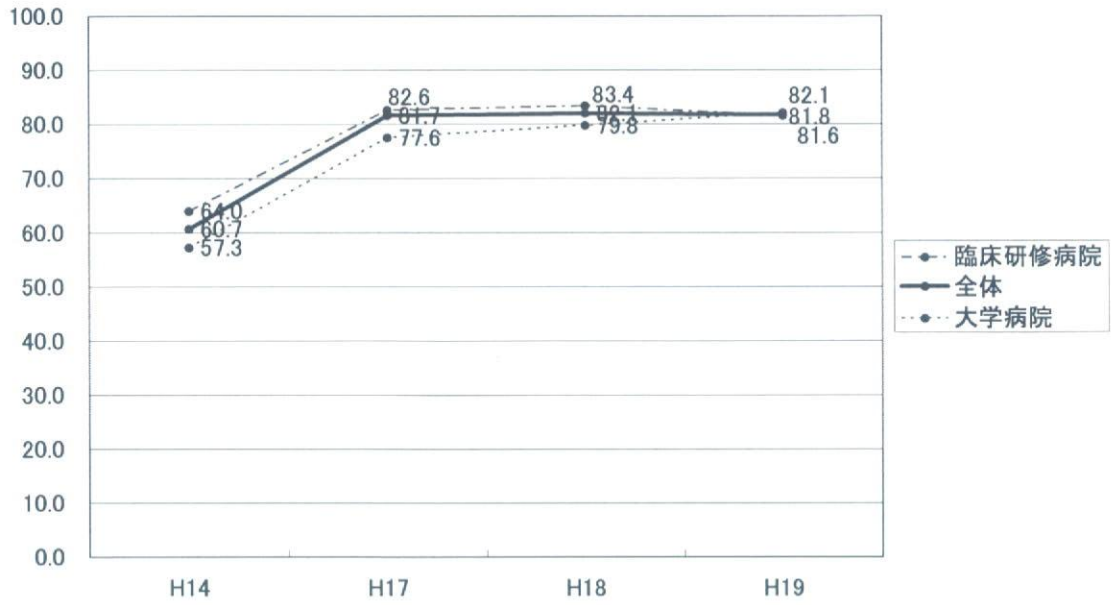
胸部単純X線でシルエットサインを判定できる



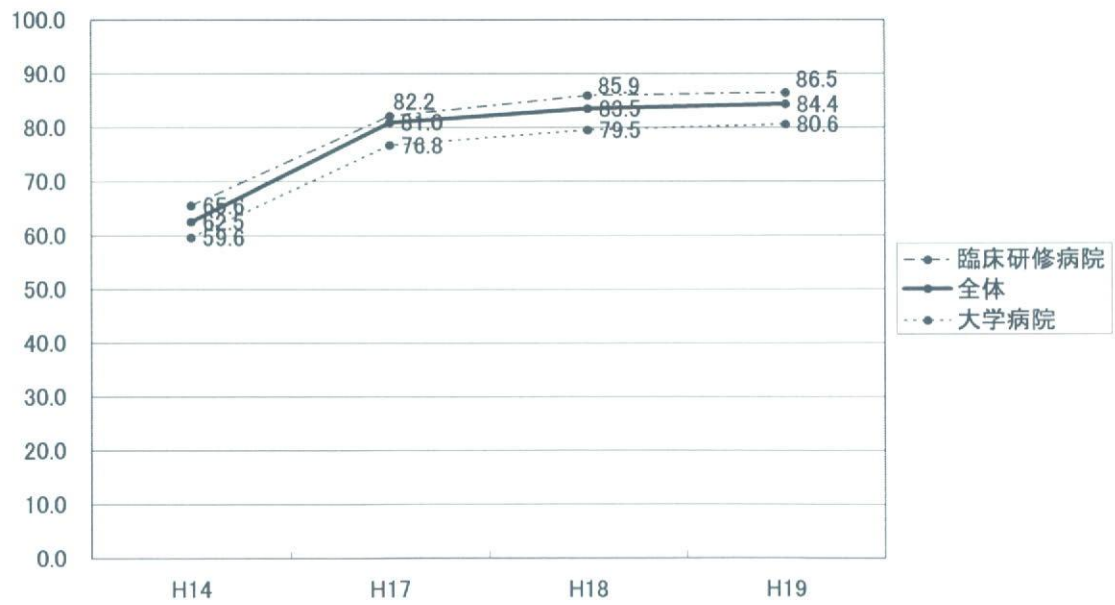
腹部単純X線でイレウスを判定できる



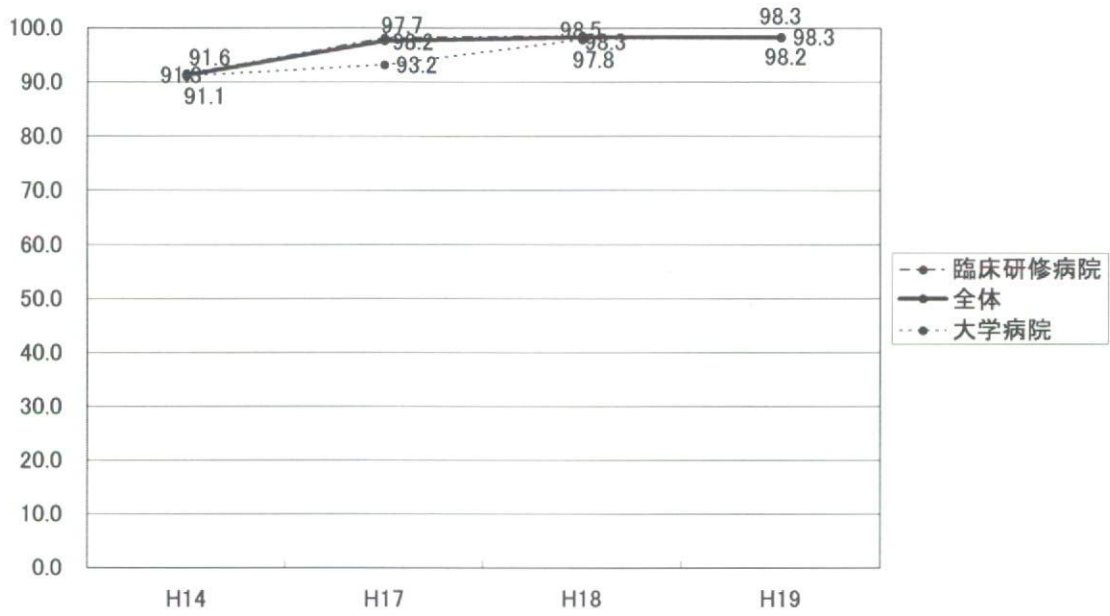
胸部CTで肺癌による所見を見出すことができる



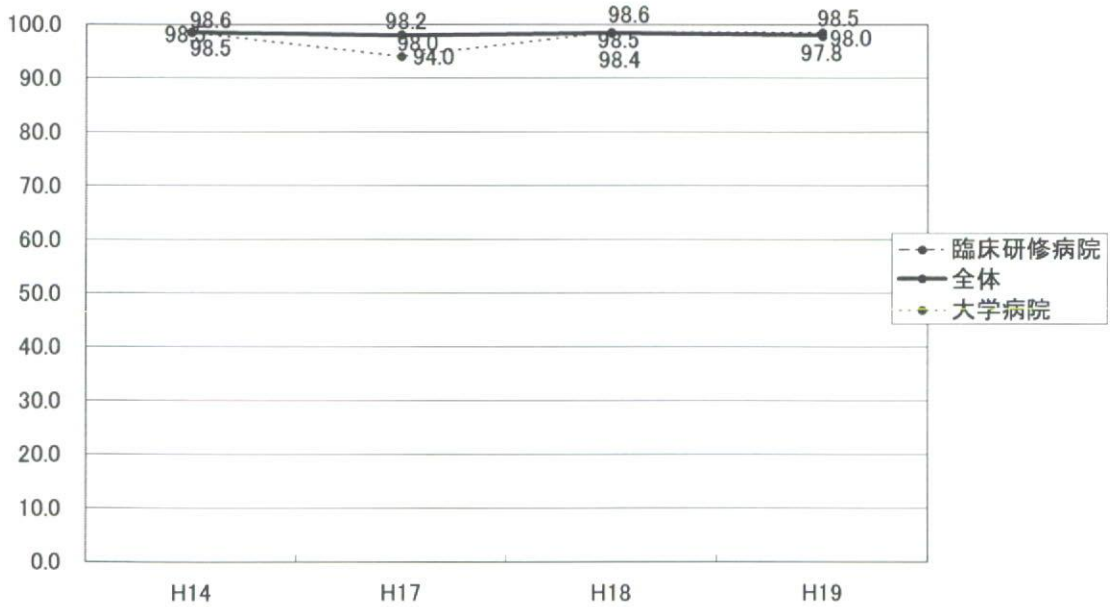
頭部MRI検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる



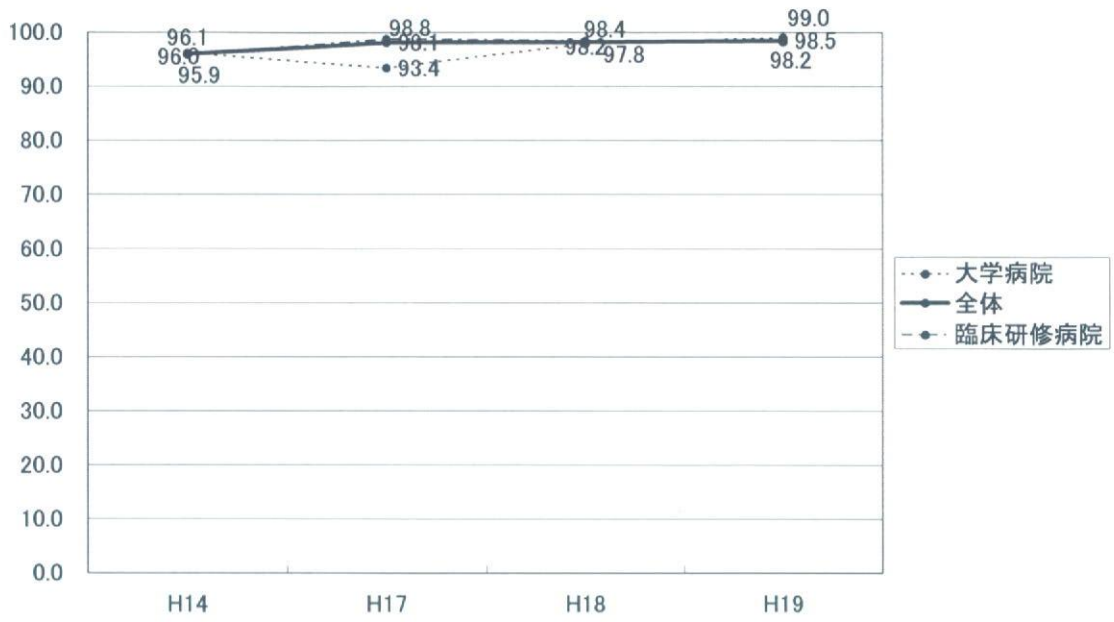
手術の手洗いが適切にできる



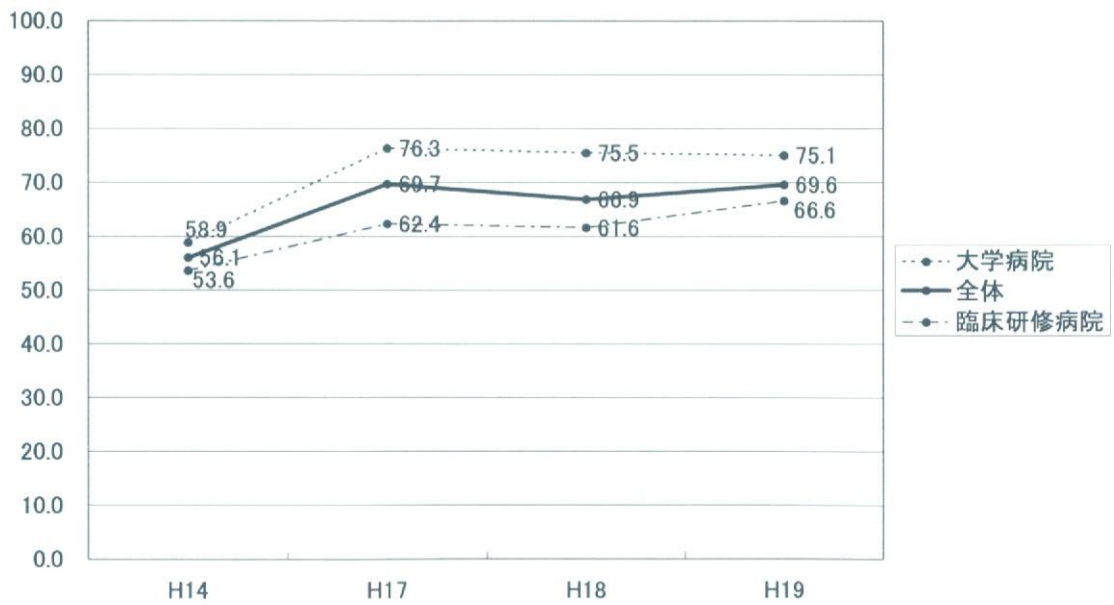
静脈血採血が正しくできる



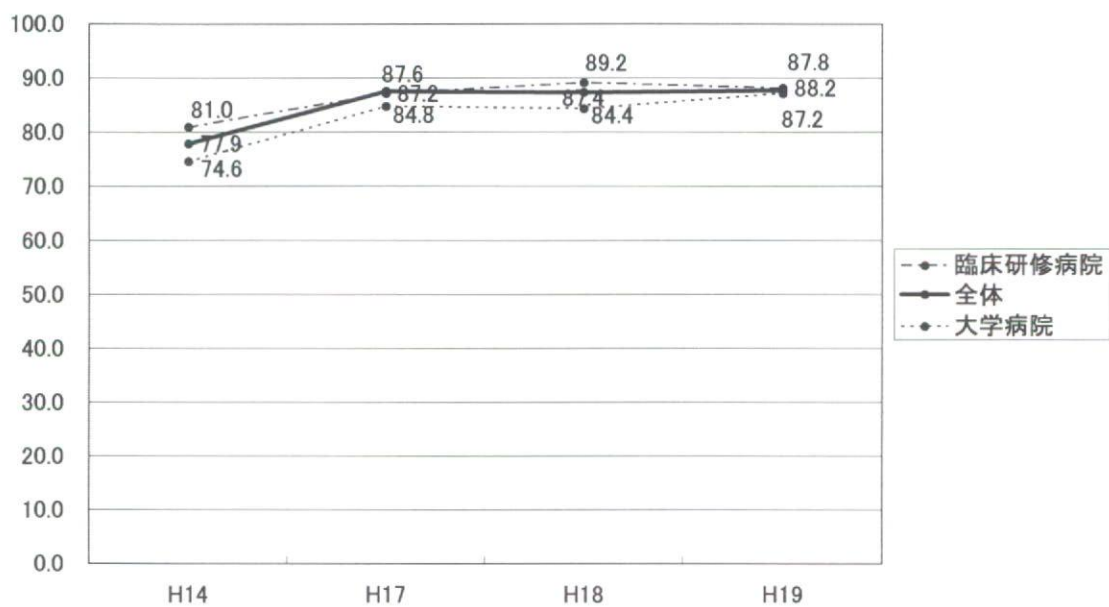
動脈血採血が正しくできる



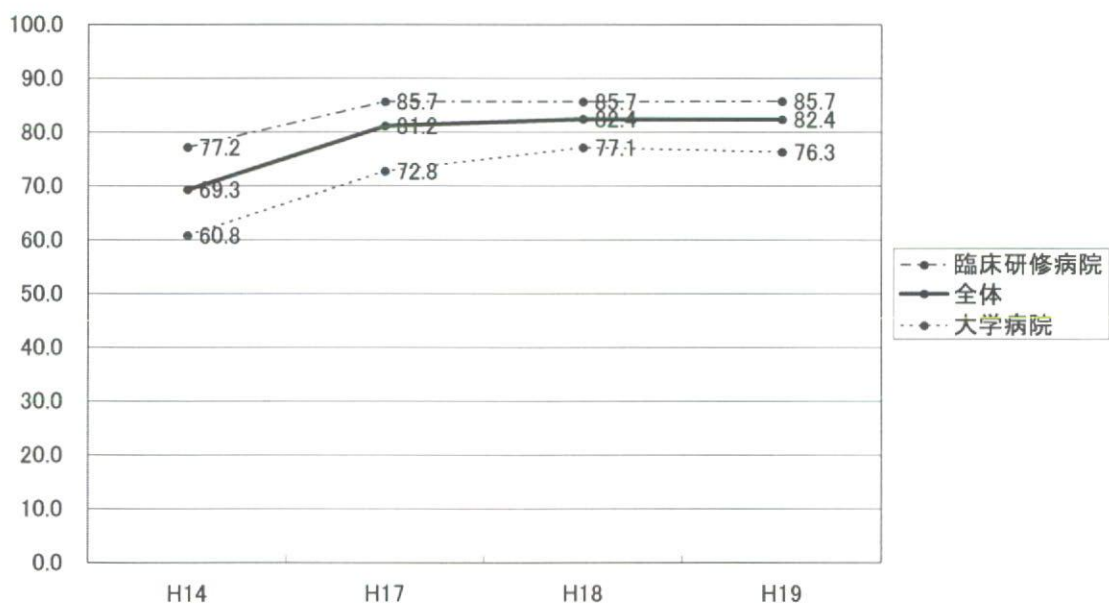
血液型クロスマッチを行い、結果の判定ができる



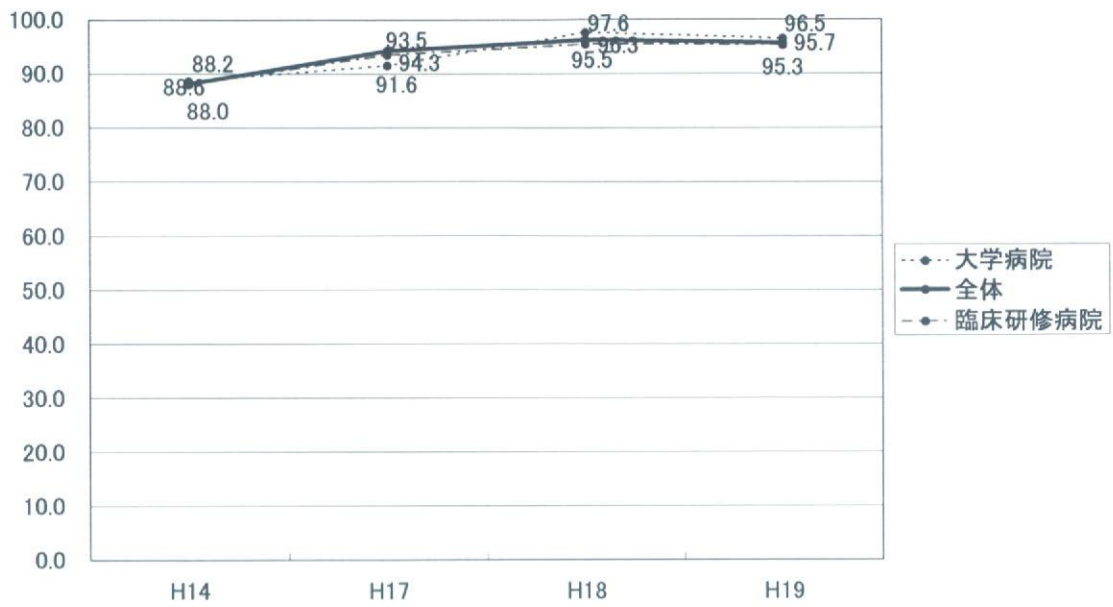
輸液の種類と適応を挙げ、輸液の量を決定できる



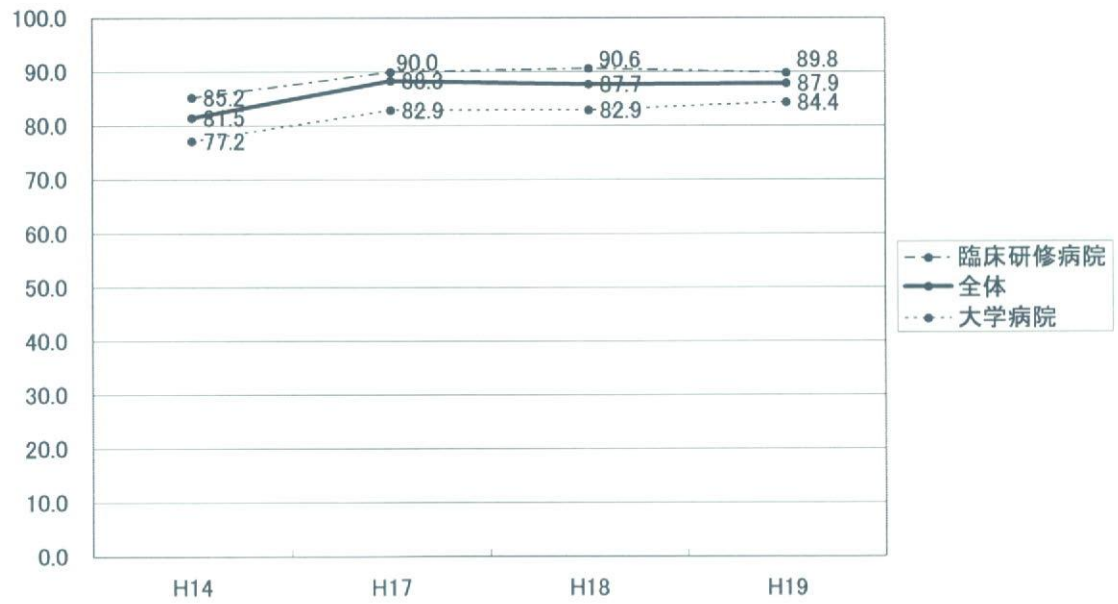
腰椎穿刺を実施できる



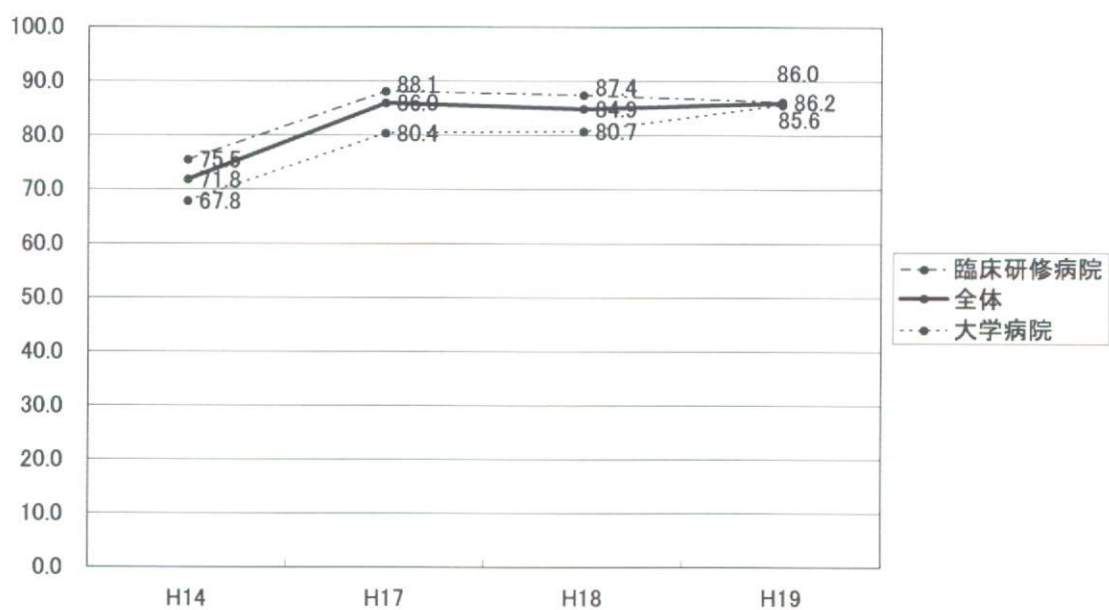
導尿法を実施できる



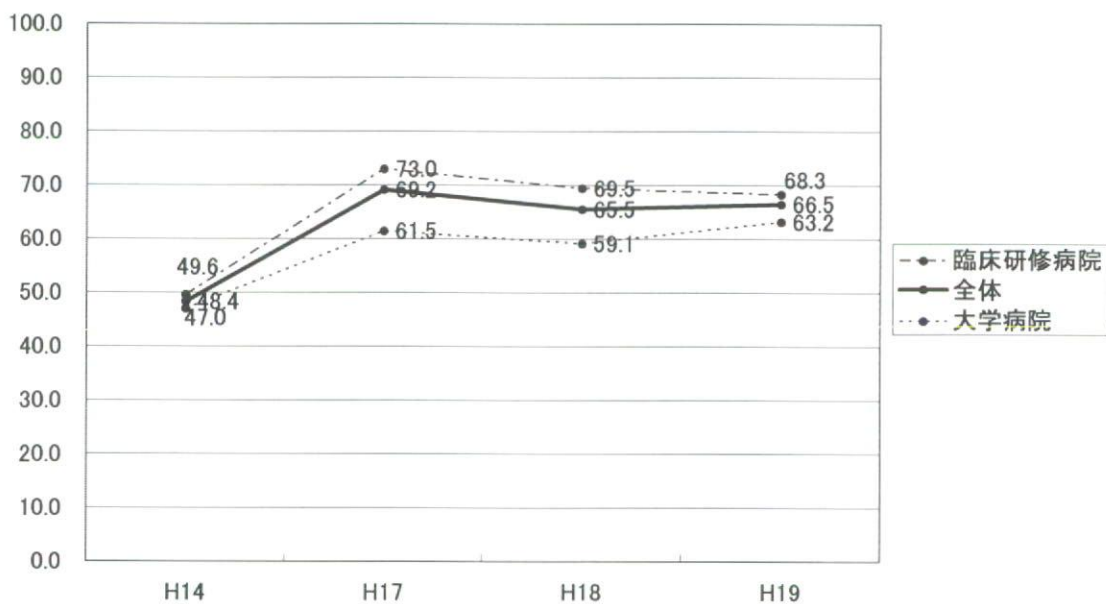
抗菌薬の作用・副作用を理解し、処方できる



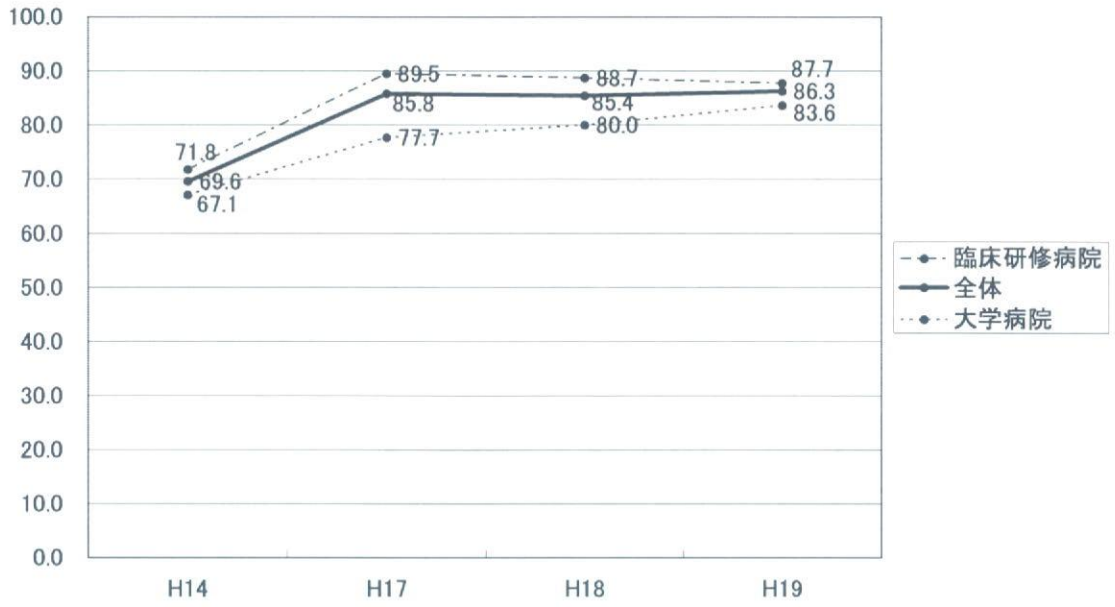
局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える



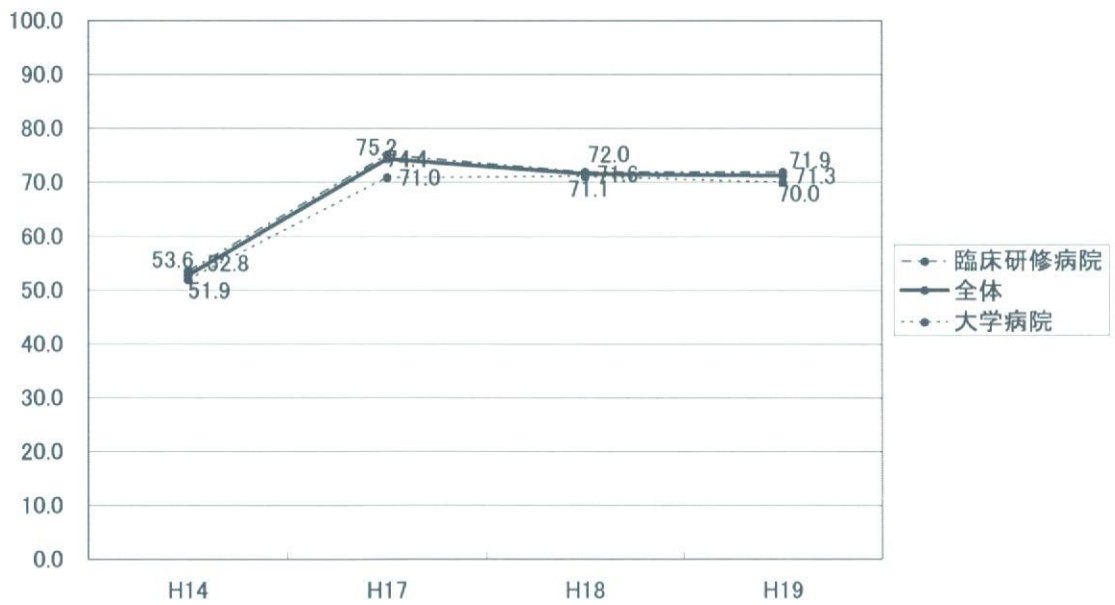
傷病の基本的処置として、デブリードマンができる



皮膚縫合法を実施できる

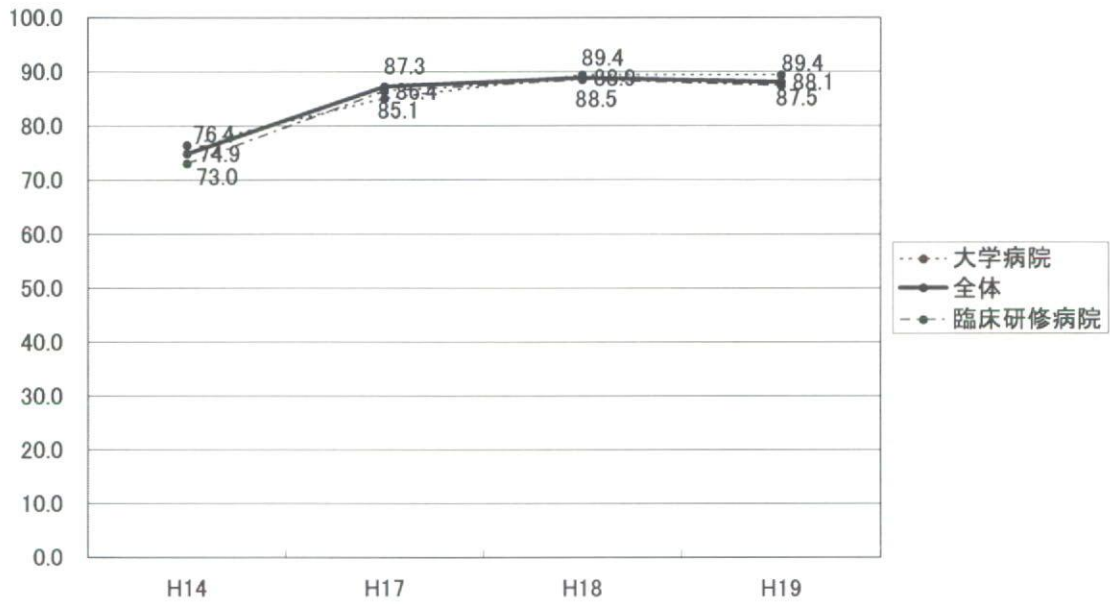


術後起こりうる合併症及び異常に対して基本的な対処ができる

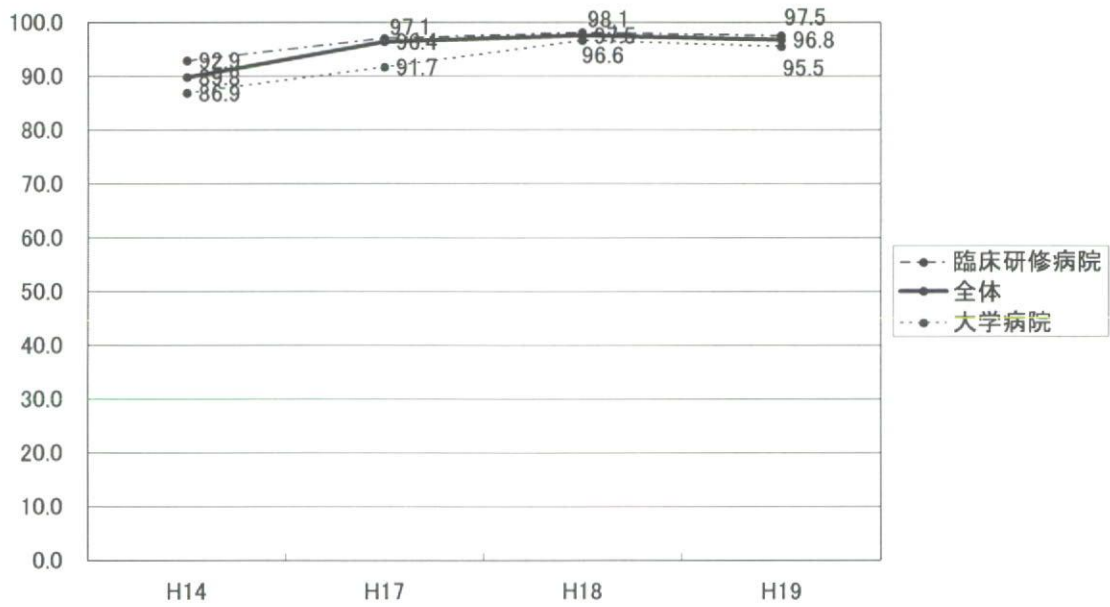




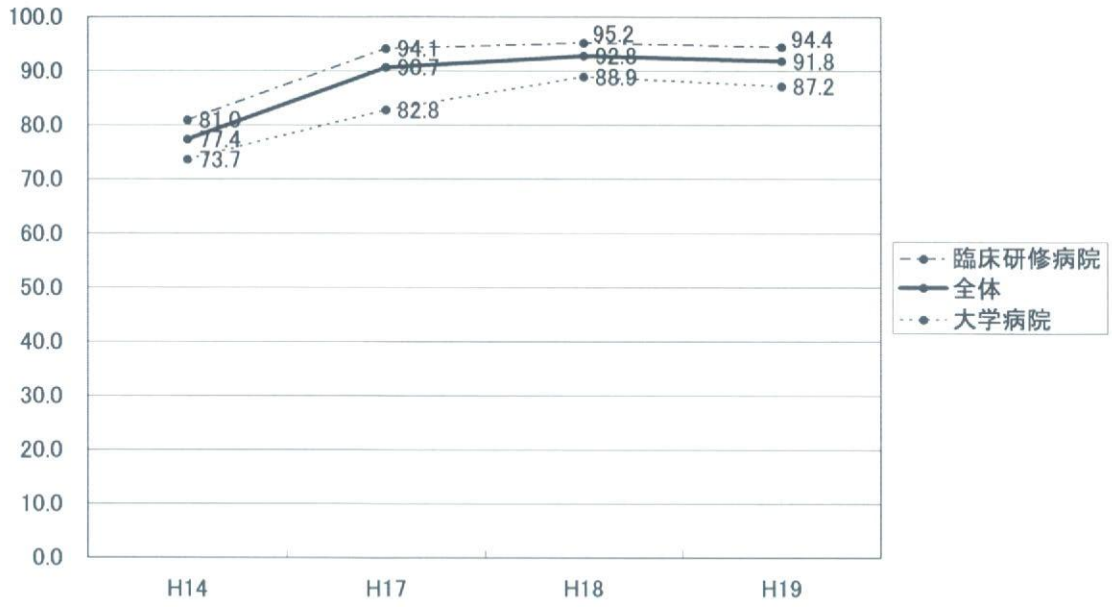
術前患者の不安に対し、心理的配慮をした処置ができる



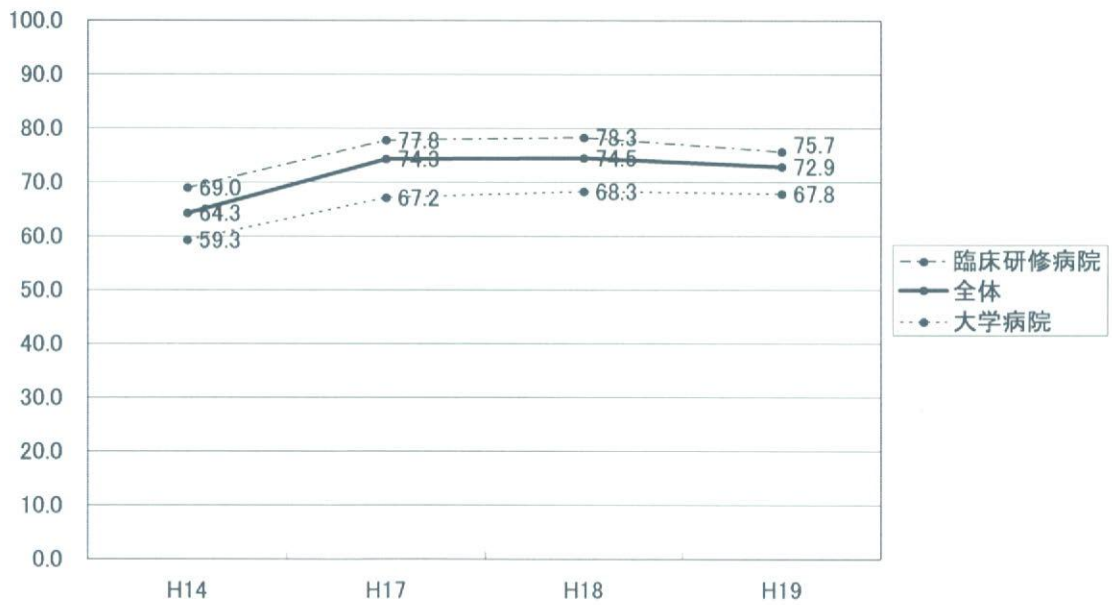
心マッサージができる



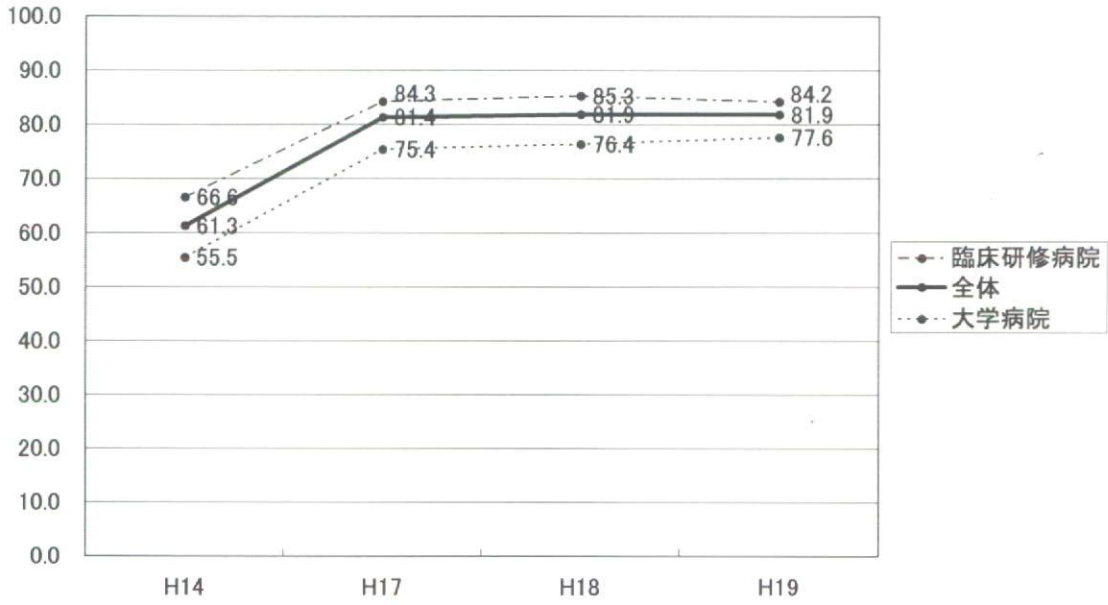
気管挿管ができる



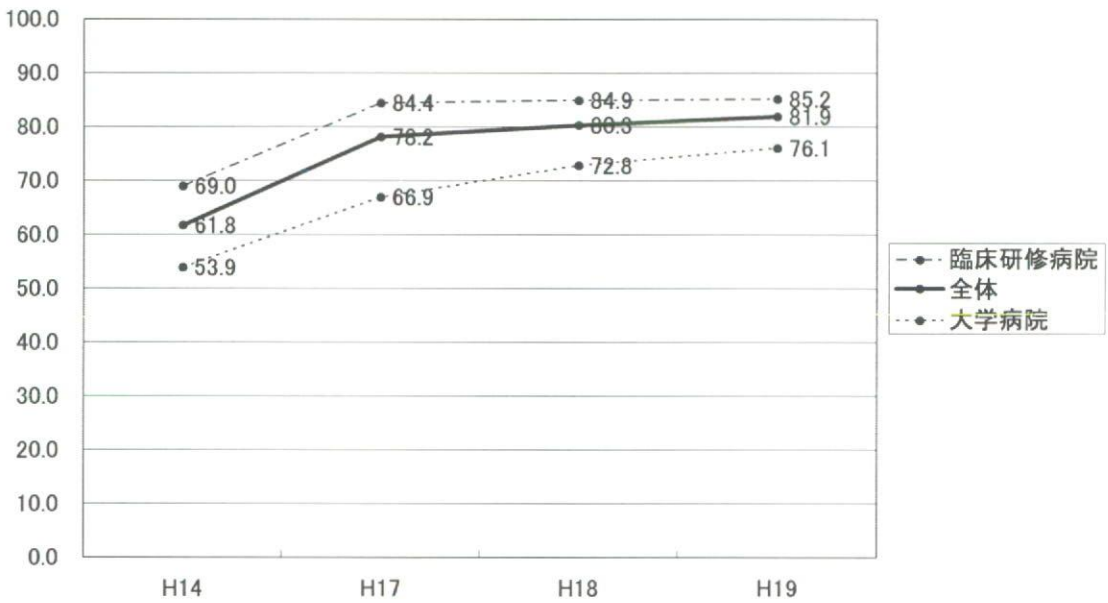
レスピレーターを装着し、調節できる



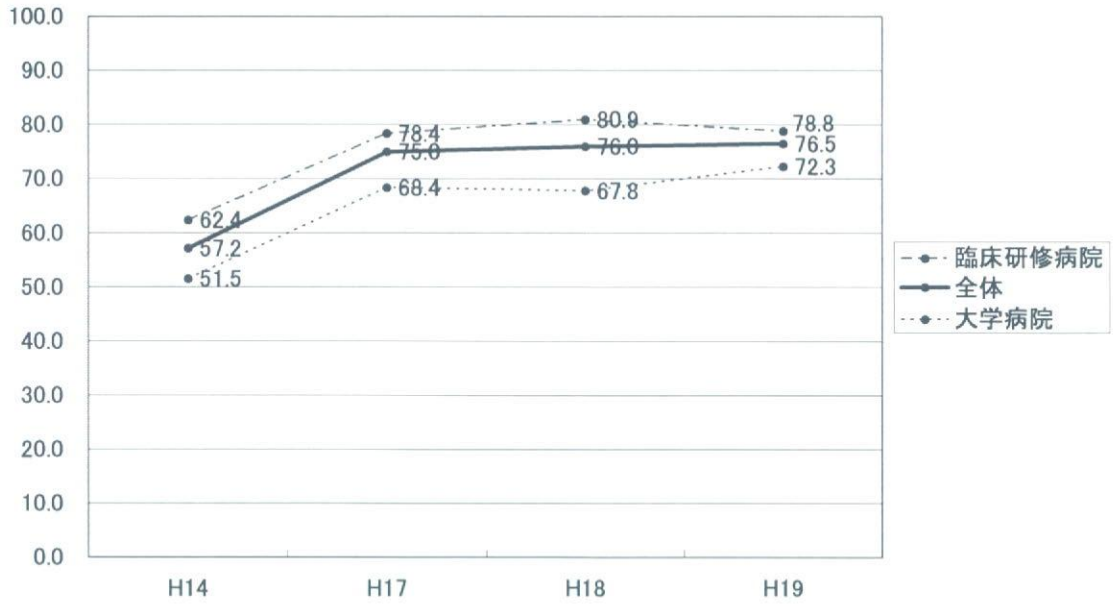
電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる



救急患者の重症度および緊急度を判断できる



ショックの診断と治療ができる



末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる

